
どうやら遊戯王のようです

マカロフ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

どつやら遊戯王のようです

【Nコード】

N2214Z

【作者名】

マカロフ

【あらすじ】

「初めまして。俺の名前は喜多見健斗です。現在15歳。突然ですが、俺は転生者です。」ある世界で死んだ主人公は、どつやら遊戯王の世界に転生した様です。GXなのにシンクロ、ドローが強い、など見苦しい点があります。それでも構わないという方は、どうか温かく見守ってください。

どうやら転生したようです

皆さん始めまして。俺の名前は喜多見健斗です。現在15歳。

突然ですが、俺は転生者です。そして、ここからが重要なんですが、どうやらここは遊戯王GXの世界らしいです。
アニメ見ておけばよかった

俺が遊戯王の世界に転生したとわかったのは、俺が10歳になった時、唐突にわかった。

というより、10歳になった時に、前世の記憶、死んだときのこと、神なんてものが実在したという事実、その神に遊戯王GXの世界に送られたこと、そんな過去のことを一気に思い出したのだ。

どうでもいいが、あまりの情報量に、頭が痛くなり気絶してしまっ
た。

せっかくの誕生日だったというのに。

まあ、神が転生日プレゼントととして、俺が死ぬときに持ってたカードをこっちの世界に送ってくれたから、そんなのぜんぜん気にならないほど嬉しかったからいいんだけどね。

気がついたときは嬉しさのあまり叫んで、両親に頭痛のショックでくるってしまったんじゃないと、本気で心配されたのは余談だ。

俺は、前世ではかなり遊戯王に熱中していた。

大学生になってもカードショップに行っっては、デュエルしていた。

大会で優勝したこともある。

死んだときも、カードショップに行く途中だったしね。

そのせいか、神が転生先に選んだのが遊戯王GXの世界だったというわけだ。

ここでひとつだけ問題がある。

それはズバリ、俺は遊戯王のアニメ、特にGXに関してほとんど知らない。

神から少し話を聞いたが、

「主人公が遊戯じゃない、だと?」

と、素で言ってしまうほどに壊滅的に知らない。

だから、もう少し詳しく知っている無印の時代にしてくれと頼んだら、

「それじゃつまらんから却下。」

なんて感じであっさりぶつた切られた。畜生…神め!

それはともかく、ようするに俺はこの先何が起こるかまったくもって分からないので、今の内にできる事と言えば、デュエルの腕を磨くことと、この世界の最低限の知識を身に着けるだけしかない。ぶっちゃけると暇なのだ。

神の話によると、今は原作の5年前らしい。

「準備できる時間、5年くらいあげるから、がんばってね。」
なんて言っただのだから間違いない。

今思えば、準備に5年もいらないだろなんてことは明白だったのに…。

神にとっての準備期間長ツ!!

やっぱり死んだ直後だったせいで、冷静に判断出来なかったんだろ
うな。

その言葉を聞いた直後には俺は転生を果たしていた。

冒頭に戻って現在15歳。

そう、あから5年たったのだ。

つまり、やっと、待ちに待った原作開始の日なのだ!!

一言だけ言わせて欲しい。

……長かった!!

ひじょ～～～～に長かった!!

勢いで二言言ってしまうほどに長く、厳しい戦いだった!!

考えても見てくれ。

前世では一応それなりの大学に通っていた一般大学生だった人間が、突然小学生になってみる。

授業はつまらな過ぎるは、周りは訳の分からん年頃のやつらでいっぱいだしで、それはもう本当につらかった。

中学はまだマシだったが、やはり精神的にくるものがあった。

だがしかし、そんな日々ともようやくお別れなのだ!!

5年の間にこの世界にデュエルアカデミアというデュエル好きの俺にはたまらない学校があることを知った俺は、即座にここの試験を受けることを決めた。

そして明日がその試験である。

さあ行くぜ!!俺のターン!!

どうやら転生したようです(後書き)

初めまして。マカロフです。

よろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2214z/>

どうやら遊戯王のようです

2011年12月7日23時54分発行